

明専会は高度技術者を目指す学生を支援

明専会会長 高原 正雄（機43）



皆さん、ご入学おめでとうございます。今までの受験勉強を見事に克服され、本学に合格されたことは、ご本人のみならず、ご家族の皆さまにとっても、大変めでたいことであり、本日のこの式典を喜ばれているものと拝察し、衷心よりお祝いを申し上げます。

さて、九州工業大学は、今からちょうど110年前に、九州の炭鉱王・安川健次郎翁が巨額の私財を投じ、山川健次郎先生を総裁に迎えて設立した私立明治専門学校に始まりました。安川健次郎翁は、常に報国の至誠に燃え、国家隆盛のもと先ずは人材育成であるという理念を持っており

ました。一方、山川健次郎先生は、会津白虎隊出身で、日本初の理学博士、東京帝国大学第6代総長の経歴を有した教育界の巨星でした。安川健次郎翁の崇高な報国精神に深く感銘し、自らが理想とした教育『技術に堪能なる士君子の育成』、すなわち、会津武士道に通じる教育を、九州のこの地にて実践しました。厳格な教育を受けた先達の多くは、世のため、人のために生涯を捧げ、国内外における産業界、教育界、政界などで著しく貢献されました。それが『名門・明専』と言われ続けてきた所以でもあります。安川・山川両先生の教育理念は、今は「世界で活躍できる高度技術者の育成」、すなわち、皆さんを世界で通用する優れた能力・資格・適性を徹底的に育成するということで継承されています。ここでいう高度技術者とは、課題が何なのかを自分の頭で考えることができ、そして、それを自分で解決できる能力

を有している者のことであります。これから先、皆さんは卒業論文や修士論文、博士論文の研究を行う際、指導教官から与えられた課題をただ単に解決するだけでは、エンジニアのレベルとしては低い、あるいは、そんなに高くないと言わざるを得ません。エンジニアに真に求められているものは、課題発見能力であります。今後、皆さんは大学という名の道場の中で多くの人たちと群れ合い、互いに切磋琢磨しながら課題発見能力を身に付けていくこととなります。一方、明専会は母校創立100周年を機に、大学と連携して学生育成支援を強力に推進しております。具体的には、企業などの第一線で活躍されている明専会会員が学生の皆さんに最先端の技術や技術者の心構えなどを「Face to Face」で伝授する「明専塾」や「明専スクール」をはじめ、「学生のものづくりプロジェクト」、「グローバル人材育成」、「トップアップ人材育成」など、多くの支援事業に取り組んでおります。他大学では例を見ないこれらの大学と明専会によるプログラムは、いずれも学生本人のやる気に基づいての参加となりま

す。プログラムに参加した学生と参加しなかった学生の間には極めて大きな差がつかます。必然、将来、エンジニアとしての進路にも大きな差がつかます。アルバイトや遊びに多くの時間を費やして、勉学やこういったプログラムを疎かにすることは、学生として本末転倒であります。折角の大学生活を無駄に過ごしたことになる、本人にとって大きな損失で、後悔につながります。

最後になりますが、本年度設立104年となる明専会は、一般社団法人として、同窓の絆の強化と学生の高度技術者への育成の事業を柱として活動を続けております。その絆の強さは、国内トップレベルであります。皆さんは、準会員（いわゆる、学生会員）として入会されていますが、卒業後は正会員に入会することになっていきます。しかし、本年度より会費の特別優遇措置として、学生の間に終身会員になれる制度を導入することにしました。近々、その特典の内容を含めたご案内が皆様のもとに届きますので、ご検討の上、入会されることを希望いたします。

（いすゞ自動車(株)理事）